

## 外来診療予定表

● 受付時間〈8:00～11:00〉まで（予約されている方は除く）

令和3年11月1日付

科名	担当	月	火	水	木	金
整形外科	新患	隈	宮崎	休診 (手術日)	隈	隈
	再来	隈	宮崎・隈		隈	隈
泌尿器科	新患・再来	藤田	石川	藤田	藤田	休診 (手術日)
		瀬治山	瀬治山	瀬治山	瀬治山	
心臓外科	新患・再来 (予約制)	岩田	休診 (手術日)	岩田	岩田	休診
耳鼻科	新患・再来	松永	松永	松永	休診 (手術日)	松永
	アレルギー		(14:30)			
脳外科	新患・再来 (予約制)	森重	休診	休診	肥川 (第1) 久保 (第2) 森重 (第3・4・5)	休診
皮膚科	新患・再来 (予約制)			大分大学		
形成外科	新患・再来 (予約制)		大分大学			
放射線科	再来					松本
内科	循環器	赤峰	柳井	赤峰	柳井	柳井
		西水	西水			西水
		田原				
	消化器	児玉	野口(地)	児玉	児玉	野口(地)
					野口(地)	
	血液			本田		本田
	内分泌					野口(眞)
	呼吸器	竹野				橋本
	腎臓			福田		工藤
	肝臓外来		寺尾 (14:00)			
血液外来	奥廣	長松		奥廣		
外科	新患・再来	武内(裕)	藤井	休診 (手術日)	藤井	武内(裕)
		松本	岳藤		岳藤	松本
	乳腺外来 (予約制)	武内(秀) (第1・3・5)				
	小児外科 (予約制)	秦		大野 (第1・3)		
総合診療	新患・再来		休診	秦	休診	秦

※医師の都合により変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。



# 賀春



### Q 抗生剤が必要な病気はどれでしょう??

一般的なかぜ・インフルエンザ・膀胱炎・肺炎・ノロウイルス・中耳炎

**正解** 膀胱炎・肺炎・中耳炎です。

かぜをひいたら、抗生剤...その抗生剤、本当に必要ですか？  
かぜの原因は80～90%がウイルスであり、残りの10～20%が細菌です。抗生剤は、細菌を退治するためのお薬なので、一般的なかぜに効果はありません(細菌の感染を合併している場合は効果あり)。かぜをひいた時は症状を和らげるお薬と、体力の回復が基本です。栄養・水分・睡眠を十分にとりましょう。[感染管理室]

### 編集後記



病院前の道路の整備が終わりました。新病院の前の道路は1車線：一方通行から2車線となり、きれいに整えられました。横断歩道が、書かれた道路は広く、車が行きかう様子は時の流れを感じ、感慨深いものがあります。たくさんの方に病院を利用いただけるよう広報誌も役割を果たしていきたいと思っております。今年もよろしくお願いいたします。



南海医療センター院長  
兼 附属介護老人保健施設長  
もりもと あきお  
森本 章生

新年明けましておめでとうございます。

JCHO南海医療センターは新病院に移転し、令和2年1月1日より新病院での診療を開始して2年が経過しました。心臓カテーテル・冠動脈ステント留置、緊急手術等の急性期医療、各種がんに対する集学的な医療、60床を有する透析センターにおける透析医療を主軸とする診療機能をフルに活用することにより、地域の中核病院としての役割を十分果たし、地域医療に貢献できていることと思っております。令和2年4月に救急科を新たに開設し、さらに佐伯市においては初めてとなる、建物の屋上に設置したヘリポートを令和2年7月より運用開始し、現在までドクターヘリによる約三十例の重症症例の受け入れや搬送を行い、十分にその機能を発揮できているものと考えます。いまだ新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えていない状況ではありますが、前記診療機能に加え新型コロナウイルス感染症にも対応し地域医療を支えていきますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



## 施設紹介 健康管理センター

健康管理センターでは、主に職域健診（働いている方）を中心に佐伯市の特定健診、がん検診等の住民健診を行っています。

センターでは、健診専用の医療機器や専用フロアを備え、待ち時間の短縮と快適な健康診断を目指しています。また、胸部・胃部ともにデジタル撮影が可能な機器を搭載した健診車で、事業所に出向き健診を実施しています。

年間のべ1万人の受診者が当センターを利用され、受診後の保健指導を積極的に行うことで、早期予防と行動変容につながる活動をしています。

一人でも多くの方から選ばれるセンターになれるよう、ホスピタリティの向上に職員一丸となって努めます。

- 主な健診について
- 生活習慣病予防健診
  - 定期健康診断
  - 特定化学物質
  - じん肺健診
  - 人間ドック
  - 住民健診（特定健診、がん検診）
  - 有機溶剤健康診断
  - ◎ 乳がん検診（女性技師が対応）

健康リスクを早期発見し  
予防・治療につなげます



申込方法について 事前に、予約が必要です。（平日：月曜日～金曜日）

健康管理センター ☎0972-22-0548(直通) \*なるべく、午後からの電話連絡をお願いします。

## 新任医師

### 紹介



#### 医師からのコメント

この度外科医として赴任しました。  
佐伯の地域医療に尽力致します。

新任医師が着任しました。

まつもと ひろあき  
外科医員 松本 紘明

よりそい つながる



11月14日は「世界糖尿病デー」



11月14日は、国際連合が定める世界糖尿病デーでした。

世界糖尿病デーでは、糖尿病の予防・治療・療養を呼びかける啓発運動を推進しています。毎年11月14日には世界中で歴史的建造物などをシンボルカラーであるブルーにライトアップします。また啓発イベントも各地で行われます。日本でも日本糖尿病協会が中心となり、各地の名所をブルーにライトアップしてきました。大分県では府内城のライトアップをしてきました。

しかし、近年のコロナ禍のあおりを受け、ライトアップの中止、啓発活動もオンラインによるイベントに切り替わりつつあります。当院でも「南海健康まつり」を毎年行ってきましたが、昨年より見合わせており、いずれ開催できればと考えています。

そこで南海糖尿病ケアチームでは、当紙面を使って情報発信していくこととしました。糖尿病患者様だけでなく、地域の皆様の健康維持向上のお役に立てるよう心がけて参ります。

南海医療センター 糖尿病ケアチーム

高木 亜希子

## 連携会議

# 地域連携会議をオンラインで情報発信！！



新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、私たち医療機関においても外部の方々との接触が厳しく制限される日々が続きました。地域の医療・介護従事者の皆様とお会いすることも中々できず、日々の業務でも大変苦労することもございました。

そこで、新たな試みとしてオンラインを用いた情報発信並びに交流の場を持つように企画しました。

令和3年9月9日（木）地域の先生方に向けて、例年、対面で行っていた地域連携会議をオンラインで開催させていただきました。運営に関して不慣れな点も多く、視聴された方に関してはご不便をお掛け致しましたが、先生方に当院の情報を発信することができました。その後も定期的に地域の医療・介護従事者向けにがんや心不全といったトピックスで研修会を継続して行っております。毎回、多くの方にご視聴いただき、この場を借りてお礼申し上げます。しかし、これまで通り、皆様と顔を合わせて行えることが一番ですので、早くコロナが収束し、平穏な日常に戻ることを願いつつ、当院としては状況に合わせて柔軟に対応しながら、引き続き、皆様に情報発信していきたいと考えております。



### 会議・研修会予定

2019.7.4



会議・研修会の内容	講師（発表者）
R3.9月 地域連携会議	救急科 緒方晴香医師 放射線科 亀井律孝医師 泌尿器科 藤田義嗣医師
R3.10月 ハイリスク研修会	薬剤部 佐々木達也氏 リハビリ 品矢浩太氏
R3.11月 心不全・ハートノート研修	看護部 成田志乃氏 栄養科 小野文恵氏
R3.12月 心不全・ハートノート研修	リハビリ 大石賢介氏 循環器内科 西水恭平医師
R4.1月 調剤薬局薬剤師向けがん関連セミナー	
R4.2月 未定	
R4.3月 (予定中)ハイリスク研修会 (予定中)緩和ケア認定看護師研修	

問い合わせ先：地域医療連携室  
FAXで広報案内を行っておりますが、メールでのご案内も可能です。